

## コゴメグサ属 *Euphrasia* (ハマウツボ科) の北海道分布

千歳市 五十嵐 博

はじめに

滝田(2001)、梅沢(2007、2018)には掲載されていないが原(1983)に掲載されているタチコゴメグサ *Euphrasia maximowiczii* var. *maximowiczii* はエゾコゴメグサ *E. maximowiczii* var. *yezoensis* の母種の扱いである。原(1983)では「葉の基部は広く、ほとんど無毛、鋸歯の先は毛状となる。全国に分布、道内では胆振や渡島にある」とあり(図1)、2018年から同属も含め各地

クコゴメグサ *E. maximowiczii* var. *arcuata*、エゾコゴメグサ、エゾノダツタンコゴメグサ *E. pectinata* が道内にあるとされ、タチコゴメグサは掲載されていない。ミチノクコゴメグサは東北地方北部から北海道西南部にかけての分布とされ、エゾノダツタンコゴメグサは根室地方、利尻島、礼文島に分布と掲載されている。タチコゴメグサは原(1983)により道内では胆振や渡島にあるとされ、高橋ほか(2008)では函館市函



図1 タチコゴメグサ 白老町荻野 左: 標本 2020.9.6 採集、葉先が毛状になる。右: 2020.10.10 撮影(本多) 花色が淡いピンクになっている。

で標本集めを行ってきた。その結果を報告する。タチコゴメグサは10月の花色が淡いピンクになり(図1右)、草丈も大型になることが現地調査でも確認できた。

文献調査・標本調査

山崎(1981)、大井(1983)では、ミチノ

館山外人墓地、白老町の標本産地が掲載されている。伊藤・日野間(1987)ではミチノクコゴメグサ、エゾコゴメグサ、エゾノダツタンコゴメグサの3種が掲載されている。梅沢(2007)ではチシマコゴメグサ *E. mollis*、エゾコゴメグサ、エゾノダツタンコゴメグサの3種が掲載され、カラフトコ